

## 清 掃 等 業 務 処 理 要 領

清掃業務の処理については、委託契約書の定めによるほか、この清掃等業務処理要領（以下「要領」という。）の定めによる。

### 1 基本事項

- (1) 清掃業務の処理に当たっては、良好な環境衛生の維持等に十分配慮するとともに、私語を慎む等、委託者の業務に支障のないよう実施すること。また、作業員の厳選はもとより、この要領のほか契約書及び仕様書の内容を熟知させるとともに日常の訓練にも十分留意して業務を行うこと。
- (2) 清掃業務の処理に当たっては、主任者を配置して作業員の適正な業務処理の指導に当たらせるとともに、作業結果を点検すること。
- (3) 作業員には常に清潔かつ端正な服装をさせるとともに、受託者の発行する身分証明書を常時携帯させること。また、職員及び来館者に接する場合の言動等について十分留意するよう指導監督すること。
- (4) 各種建材の特性を十分認識した上、最適な清掃資機材を使用すること。
- (5) 清掃機材の取扱いに注意し、委託者の施設、備品等を損傷させないこと。
- (6) 清掃作業の実施により移動した椅子、その他の備品等は、必ず元の位置に戻しておくこと。
- (7) 用水及び電力の使用については必要最小限に止め、照明は作業終了次第直ちに消灯すること。
- (8) 火気には十分注意し、特に、消防法第2条第7号別表に定める発火性又は引火性の危険物は絶対に使用しないこと。
- (9) その他、細部の事項については業務担当員の指示を受けること。

### 2 費用の負担

清掃業務の処理に要する資材（洗浄用洗剤、ワックス、タオル等）、機材（ほうき、真空掃除機等）、衛生消耗品（トイレットペーパー、水石鹼、ビニールごみ袋等）等は、一切受託者の負担とする。

ただし、水道、電力及び芝生管理のための肥料購入に係る費用は、委託者の負担とする。

（衛生消耗品年間見込み使用量）

名 称	規 格 等	数 量
トイレットペーパー	古紙もの114mm×65mm巻 1個換算	1,100個
水石鹼	手洗用液体石鹼 18kg 1缶換算	3缶
ビニールごみ袋	90リットル用換算	538袋

### 3 作業範囲

清掃区分表、ガラス清掃区分表及び別添図面に示す指定場所を作業対象とする。

### 4 作業内容及び作業実施時間

別添館内清掃業務仕様書及び館外清掃業務仕様書によること。

### 5 報告等

- (1) 定期清掃の実施及びガラス清掃において高所作業を実施しようとするときは、事前に委託者又は業務担当員と実施日等を協議すること。

- (2) 作業実施中に施設及び備品等の破損箇所を発見した場合は、直ちに委託者又は業務担当員に報告すること。
- (3) 清掃作業を実施したときは、その実施結果を、実施日の翌日（休館日の場合は直近の開館日）午前9時まで所定の業務報告書に清掃状況を記入し、業務担当員に報告すること。

#### 6 清掃人控室等の使用に関する事項

- (1) 委託業務を処理するために要する室は別に指示するものとする。
- (2) 受託者は、室の使用について、作業員に次の事項を留意させるものとする。
  - ア 関係者以外の者をみだりに出入りさせないこと。
  - イ 整理整頓に努め、施設の善良なる管理に努めること。
  - ウ 施設、備品等が破損・紛失した場合において、その破損等が作業員の責めに帰する場合については、受託者の負担において原状回復するものとする。
  - エ 電気・水道等の使用については節約に努め、火気の取扱いには十分注意すること。

#### 7 その他

- (1) 受託者は、作業員全員の写真を貼付した経歴書の写し（原本謄写証明を付したもの）を提出し主任者を明らかにすること。また、異動等があった場合も同様とする。
- (2) この要領に定めのない事項であっても、現場の状況に応じ、軽微な作業で委託者が美観又は館内及び館外の清掃管理上必要と認めた作業又は委託者が管理上必要と認めた業務（防災訓練等への参加含む）は、委託料の範囲内で実施するものとする。
- (3) 作業実施に当たり、施設、備品等に故意又は過失により損害を与えたときは、受託者の責任において原状回復するものとする。
- (4) 施設及び敷地周辺で火災その他非常災害が発生したときは、事故防止、安全保持に支障のないよう臨機に、適切な措置を講じ、職員に報告し適正な処理するものとする。
- (5) 受託者は、作業員の1ヶ月分の「勤務割振予定表（様式任意）」を前月末日までに委託者に提出すること。
- (6) 本委託業務が支障なく継続できるよう、契約期間開始前において前年度受託者と、契約期間満了前に次年度受託予定業者と十分調整協議の上、引継ぎを行うものとする。
- (7) この要領に定めのない事項については、必要に応じて、委託者及び受託者が協議して定めるものとする。